



2019年3月期 中間年次報告書

自 2018年4月 1 日
至 2018年9月30日

アトムクス株式会社



目 次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・株式情報… 6 頁

拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の「北海道胆振地方東部地震」「平成30年台風第21号」「平成30年7月豪雨」で被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループの2018年4月1日から2018年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2018年12月

代表取締役社長 神保 敏和

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかし、原油価格上昇による原材料や輸送コストの増加、記録的な猛暑や相次ぐ自然災害の発生、海外においては米中間をはじめとする貿易摩擦のリスクが高まるなど依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは「環境対策」「安全・安心」をキーワードに、環境対策製品や他社と差別化できるオンリーワンの製品の開発を行うとともに、「競争力のある工場」をめざし各工場の運営体制の見直しによる原価低減にも努めてきました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高46億92百万円（前年同期50億45百万円）、営業利益67百万円（同2億円）、経常利益77百万円（同2億12百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益37百万円（同2億43百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

〈塗料販売事業〉

建築、床用塗料においては、自然災害等の影響で工事案件が減少するなか水性製品が順調に推移したため前年を若干ながら上回りました。道路用塗料においては、第1四半期同様工事発注の遅れ、材料使用量の減少などにより前年を下回りました。家庭用塗料においては、猛暑、台風等の自然災害により個人消費が落ち込み主な販売先であるホームセンターでの売上低迷により前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて4億54百万円減少し、43億63百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

〈施工事業〉

子会社アトムテクノスで橋梁はく落対策工事が完工し、その売上計上により前年を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて1億1百万円増加し、3億28百万円（前年同期比44.9%増）となりました。

通期の見通し

2019年3月期の通期業績につきましては、原材料・物流コストの高騰、民間の設備投資及び官公庁の工事発注が不透明な状況が続くことが予想されるため、売上高105億円（前連結会計年度111億78百万円）、営業利益3億円（同5億78百万円）、経常利益3億10百万円（同5億92百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益2億円（同4億93百万円）を見込んでいます。

事業の概要

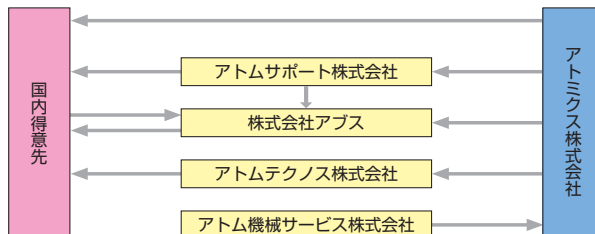
当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成



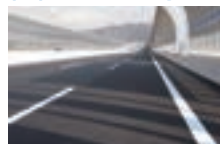
経営の基本方針

当社グループは、塗料・交通安全の領域において「独創性に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することにより「安全かつ快適な住環境・屋外環境」を実現し、「生活者との信頼関係」を築くことで「社会に貢献すること」を経営の基本方針としています。

また、塗料販売事業と施工事業において、床用・屋根用・防水用などの建築用塗料、DIY用・ホームケア商品などの家庭用塗料、路面標示材などの道路用塗料と施工機械、これらに関するサービスを提供し、それぞれの分野でナンバーワン、オンリーワンを目指します。

代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化技術をはじめ、水性型、溶剤型、溶融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫のコンクリート床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

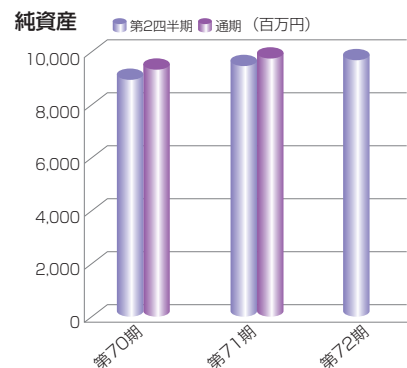
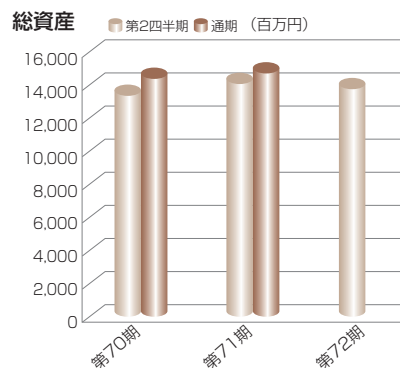
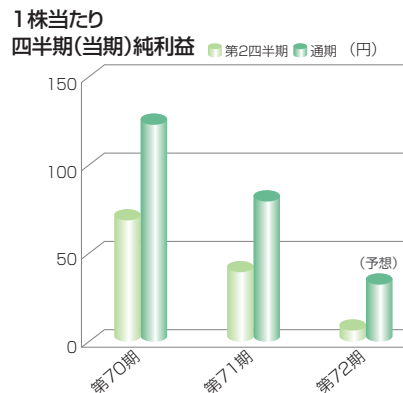
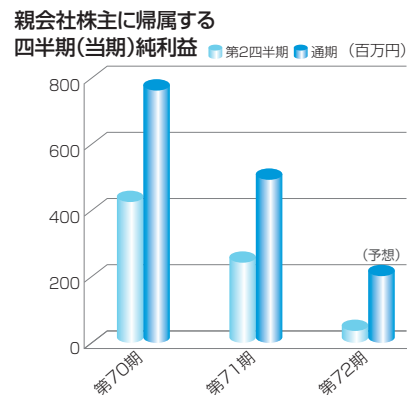
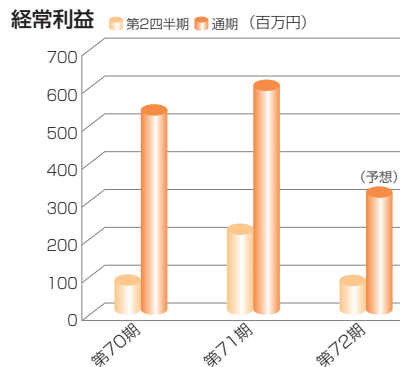
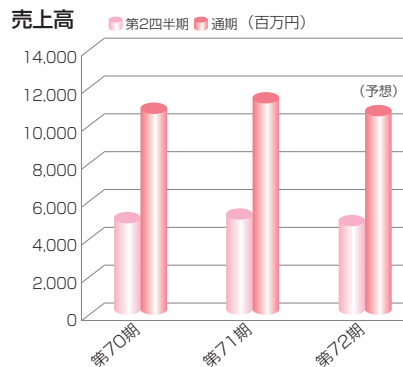
(5) 水性防水塗料



環境負荷の少ない健康に優しい製品で、水性化技術を応用した水性防水材・水性外壁防水材として建物の長寿命化に貢献しています。

業績の推移

当社グループの業績の推移



区 分	第70期 2017年3月期		第71期 2018年3月期		第72期 2019年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (予想)
売上高 (百万円)	4,851	10,628	5,045	11,178	4,692	10,500
経常利益 (百万円)	78	527	212	592	77	310
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	426	763	243	493	37	200
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	68.32	122.34	39.00	79.00	6.03	31.98
総資産 (百万円)	13,323	14,350	14,040	14,679	13,728	—
純資産 (百万円)	8,938	9,323	9,458	9,742	9,679	—

四半期連結決算報告(要約)



四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 2018年3月31日現在	当第2四半期末 2018年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	8,871,257	7,963,807
固定資産	5,808,013	5,764,353
有形固定資産	4,426,543	4,436,013
無形固定資産	202,667	182,976
投資その他の資産	1,178,803	1,145,362
資産合計	14,679,270	13,728,160
(負債の部)		
流動負債	3,986,033	3,147,125
固定負債	950,929	901,340
負債合計	4,936,963	4,048,465
(純資産の部)		
株主資本	9,408,838	9,350,885
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	8,078,010	8,019,279
自己株式	△ 401,741	△ 400,963
その他の包括利益累計額	333,469	328,809
その他有価証券評価差額金	337,493	332,082
退職給付に係る調整累計額	△ 4,024	△ 3,273
純資産合計	9,742,307	9,679,694
負債純資産合計	14,679,270	13,728,160

四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日
売上高	5,045,371	4,692,458
売上原価	3,447,530	3,299,252
売上総利益	1,597,841	1,393,206
販売費及び一般管理費	1,397,516	1,326,068
営業利益	200,324	67,138
営業外収益	16,344	13,511
営業外費用	4,573	3,612
経常利益	212,096	77,038
特別利益	112,371	249
特別損失	81	427
税金等調整前四半期純利益	324,386	76,860
法人税、住民税及び事業税	22,650	17,990
法人税等調整額	58,055	21,159
四半期純利益	243,680	37,710
親会社株主に帰属する四半期純利益	243,680	37,710
その他の包括利益	△ 14,080	△ 4,659
四半期包括利益	229,600	33,050

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	281,203	165,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 451,774	△ 101,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 187,911	△ 287,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,771	1,934
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 355,710	△ 221,759
現金及び現金同等物の期首残高	2,808,549	2,877,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,452,838	2,656,007



1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社
 本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
 創業 昭和12年2月
 資本金 10億4,000万円
 従業員数 234名 (従業員数に嘱託社員を含めています。)

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
 支店 大阪府大東市
 営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・
 名古屋・広島・福岡
 工場 加須・久喜・岡山

3. 役員

代表取締役社長 神保敏和
 取締役 船橋輝男
 江森邦昭
 村岡正己
 花形裕透
 小川博巳
 富士田学
 田中滋子(社外・独立役員)
 常勤監査役 佐藤亮介
 監査役 上原左多男(社外・独立役員)
 石川伸吾(社外)

4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 7,242,000株
 株主数 1,020名
 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	978千株	15.21%
アトミクス取引先持株会	772	12.01
東京中小企業投資育成株式会社	700	10.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	321	4.99
西川正洋	280	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口・75715口)	175	2.73
ナラサキライン株式会社	134	2.09
東洋テック株式会社	126	1.95
楠本化成株式会社	106	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	106	1.64

*持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する175,900株を除いた自己株式(812,617株)を控除して算出しています。

5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日(中間配当を実施するとき)
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同送付先 東京証券取引所
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 4625
 公告の方法 電子公告
 URL <https://www.atomix.co.jp>
 (やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞により公告いたします)

ATOMIX

<https://www.atomix.co.jp>